

## TKBストリートプロジェクト

私たちが描く、これからの街並み

「武部の考える家づくり、まちづくり、そのモデルストリートがここに。」武部建設がこれまで蓄積してきた住宅建築の技術を駆使し、個の住宅から街並みを意識した家づくりにチャレンジする取り組みがはじまっています。

一戸だけでは表現しきれない住宅の良さを、ストリートという連続性の中でどう表現できるかがテーマとなっており、時間をかけながら少しずつストリートをつくっていく予定。完成後は、体験宿泊を通じて住まいの快適さを体感できる機会も予定されています。

エリアとしての「TAKEBEビレッジ」の誕生を、ぜひお楽しみに。

### コンセプト

#### 庶民の価格帯であること

インシャルコストはもちろんなランニングコストも負担にならないことが、安心して家を持つきっかけに

#### 高性能でコンパクトであること

いくら省エネでもサイズが大きければインシャルコストもランニングコストもかさむ原因に

#### 少なくとも100年は、世代をつないで生涯暮らせる

汎用性がある可変性に富んでいるプランで、100年住み継がれる家に

#### シンプルで美しい、豊かなインテリア

いつも新たな発見があるシンプルなインテリアは、飽きることなく世代を越えて愛される

TKBストリートの第1弾となるモデルハウスの建築現場を随時公開中。完成してからでは見ることのできない構造を見学することができます。

- 現場住所: 岩見沢市5条東18丁目31-8
- お問い合わせ: 0126-22-2202

## 武部建設×アトリエmomo

きた住まいる・プロジェクト～てまひまくらし～

都市と田園のバランスがほどよい南幌町でこそ実現できる「クオリティ・ファーストの暮らし」をコンセプトに、建築家と地域工務店で創る『みどり野きた住まいるヴィレッジ』。隣地も合わせて購入できるよう1区画おきに販売され、ベンチやあずま屋、ゲスト駐車場や子どもの見守りスペースなど、住人が互いに利用できるシェアリングのしくみをつくり、時間と空間を共有することを提案しています。

武部建設はこのプロジェクトのなかで、設計事務所のアトリエmomoとコラボレーション。自分らしい生き方、暮らし方に寄り添うような、ちょっとした「てまひま」を楽しみながらかけたい。そんな暮らしの提案を詰め込んだ木造2階建ての小さな住まいを提供します。

てまひまくらし

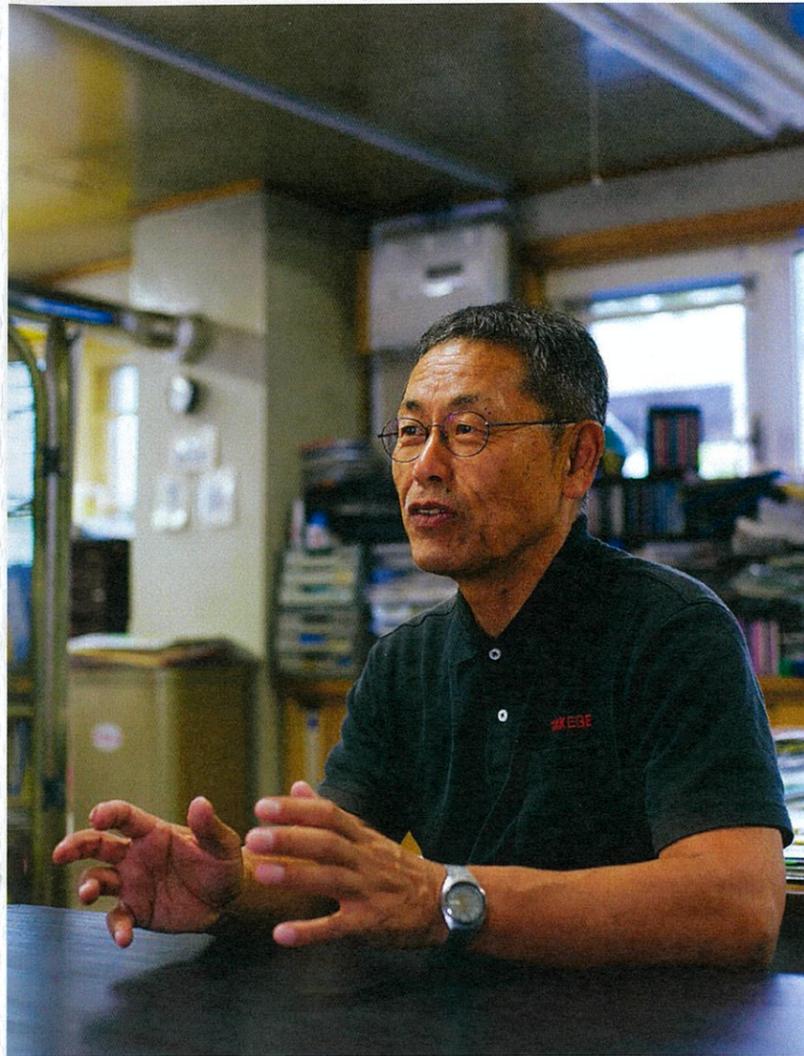
### コメント

#### 武部建設株式会社 代表取締役 武部 豊樹

このプロジェクトにはいくつかの新しい試みがあります。ひとつ目は地域の住宅のつくり手(建築家と工務店)が協働で行政(北海道)と一緒に小さいながらも街並みをつくらうということ。ふたつ目は設計と施工が計画段階からそれぞれの持ち味を対等な立場で出しかけて家づくりをしようということ。3つ目はそれを北海道の家づくりの新しいスタンダードとして確立したいということ。このような野心的な試みに私たちはチャレンジしています。

#### 一級建築士事務所 アトリエmomo 櫻井 百子

地域での暮らしと住まいが一体となって場の魅力が高まり、住みたい人が集まってくる、そしてまたそれが場の魅力を引き出して引き継がれて、まちが育まれていく。そんなプロジェクトに参加できるなんてとても魅力的なことだと感じています。なんでもメンテナンスフリーを求めるのではなく、ちょっとしたひとてまを楽しくかけたい。そんな住まいと暮らし方を提案していきます。



## 工務店の力の源 「大工」を育てる

代表取締役 武部 豊樹

### 技能も経験も優れた職人の育成が 地域工務店の大きな役割

地域工務店の競争力の源泉は大工です。私たちの勝負どころは、価格競争ではなく、大工の技術力が見える「家」。そのために、家づくりの基本を理解し、技能も経験も優れた職人をきちんと育成して生かし、継承していくことは、工務店の大きな役割だと考えています。

今、若い大工が不足しています。原因の一つは育成システムがないこと。

大工仕事は、現場でしか技能や経験を伝えられませんが、今までは各社がそれぞれに大工の育成を担ってきましが、優れた大工を育てるには、一社では限界があります。そこで今回、全国約3000社が加盟するJBN・全国工務店協会として「大工育成ガイドライン」を策定。そこには、大工のキャリアパスや社員化、育成内容などを指標として明文化しています。

もう一つ大切なのが、大工の社会的地位の向上。待遇面はもちろんな、環境やキャリアアップも含め、若い人たちからの評価を高めるためには、大工の技能や意識の向上と共に、経営者による大工の正当な評価が重要です。両者のパートナーシップがあつてこそ、安定性・将来性のある専門職として認知されていくと考えます。

当社では客観的な評価基準として、技能士の国家資格の取得を勧めています。また古民家再生を通じて日本建築の優れた構造を知り、学ぶ意欲を喚起することも大工の育成に大いに役立っています。2017年、当社を含む工務店8社で「大工ネット

腕のいい大工の力があってこそ 永く住まえる、いい家づくりが実現できる

トワーク北海道」を立ち上げました。大工同士の交流や情報交換ができる仕組みの構築で、若い大工の仲間づくりの環境を整えたいと思っています。

風土に根ざした軸組構造は、大工だからこそつくれる家で、維持管理しやすいのも強み。手を入れながら100年住み継ぐ。それが現代の長期優良住宅に受け継がれているテーマです。今後増え続ける多様な改修工事でも、墨付けや手刻みの基本を身につけた適応力のある大工の力が必要です。大工の育成と地位向上、そして自社大工を抱える地域工務店なくして、いい家づくりはできないと思うのです。

